

日本型教育の海外展開（EDU-Portニッポン）

令和8年度予算額（案） 75百万円
(前年度予算額) 65百万円



背景

アジア・アフリカなどグローバルサウス諸国から、国の成長を担う人材育成に向けて、**日本型教育**（高い基礎学力や規律ある生活習慣を育む「**知・徳・体**」のバランスのとれた初等中等教育、質の高い**理数教育・ICT教育**、責任感・協調性を育む**特別活動**（掃除、学級会等）、教員同士が相互に学びあう**授業研究**、きめ細かい**特別支援教育**、**高専・専修学校**等での産業人材育成など）に、高い関心が寄せられている。

- ◆日本型教育の海外展開を通じ、多様な文化的背景に基づく価値観を持った者が集い、理解し合う教育研究環境の実現を推進し、我が国の教育の国際化を推進する。また、親日・知日層の拡大、相互理解促進、留学生の受け入れ推進、関係国とのパートナーシップの構築、国際プレゼンスの向上を図る。（教育未来創造会議・第二次提言 R5.4閣議決定）
- ◆グローバルサウス諸国との一層の連携強化を図るために、人材育成・人材交流や文化交流を促進するとともに、官民で連携して、ビジネス環境の改善やプロジェクト支援を一体となって働きかけることが重要。（「グローバルサウス諸国との新たな連携強化に向けた方針」R6.6内閣官房長官決定）

事業概要

平成28年度より、関係府省や国際協力機構（JICA）、日本貿易振興機構（JETRO）、教育機関、民間企業等が協力して、「**日本型教育の海外展開官民協働プラットフォーム**」を運営。これまでの成果を踏まえ、令和8年度から特色ある日本型教育の戦略的な取組の強化（国際教育プログラム「**知・徳・体 CHI-TOKU-TAI**」（仮称）の立ち上げ）と国内の教育・経済成長への還元と横展開を推進する。

◆官民協働プラットフォームの運営

- ・方針決定・戦略策定のための官民有識者会議の開催
- ・シンポジウム、教育見本市、ウェブサイト、メール等を通じた効果的情報発信の推進
- ・スクールビジットの戦略的実施
- ・事業評価

◆国際教育プログラム「**知・徳・体 CHI-TOKU-TAI**」（仮称）の策定、認証評価の仕組みの検討

- ・コンセプトペーパー、プログラムの作成、パイロットの実施
- ・プログラムと学力向上の関係調査、認証評価の仕組みの検討

◆調査研究事業

- ・経費支援、個別相談、呼称・ロゴ使用
- ・対象国・地域の教育課題の解決に資するとともに、学校現場の国際化を促す日本の特色ある取組が対象

◆EDU-Portニッポン応援プロジェクトの採択・支援

- ・文科省からの推薦レター発行、呼称・ロゴ使用
- ・現地関係機関との仲介支援
- ・情報発信・交換の機会の提供



これまでの成果事例

「調査研究」と「応援プロジェクト」において、57か国・地域にて145件の事業を実施

●「調査研究事業」事例



エジプト他 - 福井大学「福井型教育による学びの質的向上 日本・アフリカ域内協働展開事業」
(2022)



日本と相手国との双方向の学びと、大学・教育委員会・学校の連携により、日本の教育現場に国際協働と国際交流の機会を提供。

●「応援プロジェクト」事例



インドネシア - カシオ計算機株式会社
「探求型数学教育の普及・定着支援事業」
(2025)



フィリピン - ヤマハ株式会社
「初等教育への日本型音楽教育導入事業」(2025)

企業の多くが、EDU-Portによって海外の学校現場へ参入しやすくなり、日本の特色ある教育手法とコンテンツの海外展開を加速させた。

2026(R8)

プログラム作成

働きかけ

複数年をかけて実施を想定

パイロット実施

実施国の大拡大

(担当 : 大臣官房国際課)